

9月9日から29日まで第3回定例会が開会され、えんど久子県議が一般質問で県民の声を紹介しながら政策実現を求め、つつみ栄三県議は最終日で議場に立ち、上程された議案等に対する討論を行いました。

日本共産党大分県議団



日本共産党 県政報告

つつみ栄三 (大分市選出) **えんど久子** (別府市選出)

定例県議会



えんど久子 県議会 一般質問で求める
さらに幅ひろくPCR等検査を

日本共産党は、国や大分県にコロナウイルスに関する緊急申し入れを行うなど、PCR検査の拡充を求めてきました。9

月16日の県議会の一般質問で、えんど久子県議はこの問題について質問。

リスクの高い人は定期的に

「大分県でも医療機関、介護・福祉施設、保育園・学校などリスクが高い施設の職員などへ定期的なPCR等検査を行い、必要に応じて施設利用者全体を対象にしたPCR等検査が必要だ。保健所や衛生環境研究センターなどの正職員増など体制強

化を」と、えんど久子県議。

病床・宿泊療養施設の確保や医療機関への支援や、市町村ごとの検査数や陽性率などの公表開示、フリーランス・小規模事業者への支援充実も求めました。

1日2000件の検査めざす

広瀬知事は「積極的なPCR検査によって感染の広がりを早期に収束さ

せることができた。9月中には1日762件のPCR検査が可能になり、

発熱などの時は病院に電話を

えんど県議は24日の常任委員会でも質問。

今後、インフルエンザ流行期に備え、1日762件のPCR検査に加え、迅速診断キット（抗原定性検査）1日2000件を11月中に目指し、さらに、県内医療機関で

万一県内で感染震源地という状況が発生した場合でも対応は十分可能である。医療機関・介護施設等では、常にモニタリングし発熱等の増加の兆候が見られた場合にはPCR検査を行う。議員と考

えは同じだが、定期的なPCR検査は今のところ必要はない」という趣旨の答弁でした。
入院は300床、宿泊療養施設は700床確保しているとの説明でした。



「7月豪雨で被災した天瀬では水源の集中管理を求める声がある。なりわい再建補助金の実施主体である県が被災者に寄り添って国に強く要請を」と、えんど久子県議。

「地域経済の早期回復をなりわい再建補助金で力強く支援していく。まず地元のコンセンサスが大事だ」と広瀬知事。

20. 9. 16. 大分県議会

の抗原定量検査の拡充を進めるとのことです。医療機関名は10月末に県のホームページで公表予定です。
発熱や咳などの症状がある場合は、まず身近な病院に電話で相談して下さい。

日本共産党 えんど久子県議が質問 放課後児童クラブの待遇改善を

責任者などは安定した収入に

えんど久子県議は、一般質問で「コロナ禍で、医療、介護、障がい者福祉、保育、放課後児童クラブなどのケア労働は、休むことができない、どんな時にもなくてはならない仕事だと明らかになった。しかし、高い専門性を求められるにもかかわらず、待遇が悪く人材確保が難しい。放課後児童クラブは、少なくとも1クラブに責任者を含む2名は安定した収入と待遇が得られるようにするこ

とが必要だ」と、放課後児童クラブの支援員の待遇改善を求めました。

県は、キャリアアップの処遇改善を行い、国にも働きかけていることを説明。「支援員の処遇改善は重要な課題だ。市町村の処遇改善の取り組みをしっかりと支援する」と答弁しました。

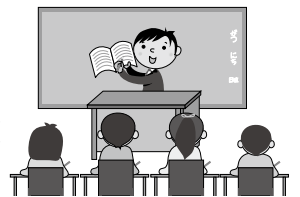
さらに、えんど久子県議は、放課後児童クラブや保育園の職員にも慰労金を、と求めました。

今こそ少人数学級を

日本共産党は一貫して少人数学級拡大を訴えてきました。

一般質問で、えんど久

子県議は「子どもたちのコロナ禍での心のケアや学習の遅れに丁寧に対応するためにも、感染防止



の点でも、少人数学級は急務だ。今こそ、国に少人数学級を強く求め、県としても少人数学級を小中学校の全学年に拡大するべきだ。また、教員への1年単位の変形労働時間制は導入すべきでない」と、県の見解を問いました。

教育長は「コロナの感染予防のために教員22名を追加配置し、消毒などのサポートスタッフを多数配置した。少人数学級は、人件費だけでなく教室等のハード整備に多額の財源が必要で、にわかには拡大することは困難」との答弁でした。

今後ともみなさんと力をあわせてがんばります。

大分県温泉道で魅力PRを

えんど久子県議は、別府の88湯をめぐりスタンプを集め「別府八湯温泉道名人」の称号を与えられる別府八湯温泉道を紹介。「私も名人だが、延べ9400人近い名人が全国各地や海外にもいる。SNSで発信し、全国各地からのリピーターにつながっている。九州温泉道もあるが大分県温泉道がないのは残念だとの声を聞く。市町村などと協力し、大分県温泉道に取り組んではどうか。インバウンドに期待できない中で、大分県温泉道は広くおんせ

ん県おおいたの魅力をPRするために大変有効だ」と提言。

知事は「興味を持って聞かせてもらった。大分県温泉道もあってもいいんじゃないか。前向きに検討したい」と答弁。観光局長も「市町村の意見を聞きながら研究する」との答弁でした。ぜひ、実現させましょう。



「私も名人だが…」と名人に与えられ黒いタオルを議場で広げて、大分県温泉道をと訴えるえんど久子県議
2020. 9. 16.

大分県警 顔認証システムの 活用は今年3月から すでに実施

9月24日文教警察委員会が開催されました。今回つづみ栄三県議は、「全国の警察で犯罪捜査に顔認証システムの活用」を始めている問題で、大分県警の取り組みはどうかなどたどりました。

警察本部は「防犯カメラの画像と警察が保有する犯罪者の画像のデータを照合して、似ているかを抽出して捜査に活用している」と答弁しました。さらにつづみ栄三県議は、「大分県警は過去、組合事務所を違法な隠しカメラで盗撮してきた経緯がある。プライバシーとのかかわりはどうか。」とたどりました。それに對し「このシステムは本部勤務員が当たり、上司の許可を取って運用している。結果についても上司が確認しプライバシーの問題には十分配慮して

いる。」と答えました。また「顔が似ているというだけで決めつけて被疑者として捜査はしていない。誤認逮捕につながるないようにしている」と

も答弁しました。しかしこのシステムが独り歩きしないように、私たちがしっかりと監視する必要があると感じました。

9月29日第3回定例会 最終日には、 つづみ栄三県議が 各議案等に討論

(今回は議案18本中1本の反対でした)



「なりわい再建補助金」に 県独自のうわのせ制度実現

今回の補正予算と先決予算は、新型コロナウイルス感染症対策として高度医療設備導入に対する支援策や農林水産業施設等復旧支援事業が可決されました。

7月豪雨災害対策として、グループ補助金を使い勝手の良いものにした「なりわい再建支援事業」(国・県で4分の3補助)など、地域の実情に合っ



た補正予算も可決されました。これは、「感染症の影

県民のねがいを 来年度予算で 実現を

響により売り上げが5%以上減少した被災者には、県が独自に上乘せし

6分の5まで補助額を引き上げる制度となっています。



10/2 県に216項目の来年度予算要望書を提出

住宅再建の予算1億円

災害援護資金貸付制度が創設されました。これは7月豪雨災害で住居や家財に被害を受けた方に対し、全壊250万円、

半壊170万円、家財の3分の1以上の損害で150万円の災害援護資金の融資制度がもりこまれました。

コロナ対策の応援金給付が増額

今回の補正予算には、中小企業・小規模事業者応援金給付事業で、個人事業者には15万円から25万円に、法人には30万円

から50万円に給付金が増額されました。以上の理由から今回の補正予算等には賛成しました。

「20人学級の実現請願」がまたもや不採択に

文教警察委員会で「国による20人学級を展望した少人数学級の前進を求める」請願が審議されました。

県は、児童数30人の学級数は少子化のなか、小学校で73%・中学校で57%あるとの資料や、人件費や教室整備に約57億円かかるなどの資料を提出しました。

これに対して、つつみ栄三県議は「全国知事会長など3者が連名で、少人数学級推進の緊急提言をしていることを示しぜひ国にこの声を届けてほしい」と訴えました。

多額な財源が必要との県の主

「景気対策は消費税減税で」の願いをつぶす

「国に対し消費税率5%以下への引き下げを求める」請願が、総務企画委員会で審議され、全員の反対で不採択になりました。

最終日につつま栄三県議は「本請願はコロナ感染症拡大や豪雨災害に苦しむ大分県民の切実な願いであること」と「国政

張に対しては、「教育に財源論を持ち出し、実現できないというべきではない。例えばプレハブを設置したり公共施設を借りたり、実行しようと思えばいろんな知恵が出てくる」と請願の採択を求めました。

この議論の中で、自民党の議員は「請願の趣旨はわかるが20人という人数が妥当かどうか不明」として、委員7人中、自民党4人の反対で不採択になりました。そして最終日では、共産党・県民クラブの賛成。自民党・公明党・諸派の反対で不採択となりました。

では自民党内部からも野党からも消費税率を5%や0%にする提案がされている」ことを述べて採択を求めました。しかし本会議で、今回の請願には共産党だけが賛成をし、他会派すべてが反対をして不採択となりました。

議案に対する態度

	日本共産党	自由民主党	県民クラブ	公明党	しんせい大樹会	志士の会	採決	
議案	2020年度大分県一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	コロナ対策や災害復旧経費の予算なので賛成。
	大分県立学校職員及び大分県市町村立学校県費負担教職員定数条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	コロナ対策として小学6年生・中学3年生を対象に先生を22人増員する条例なので賛成。
	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	いずれもマイナンバーへの紐づけであり個人情報の漏えいや社会保障費切り捨てにつながるので反対。
請願	消費税5%以下への引き下げを求める意見書の提出について	○	×	×	×	×	×	消費税をなくす大分の会提出（討論の内容は本文に）
	国の責任による20人学級を展望した少人数学級の前進を求める意見書の提出について	○	×	○	×	×	×	新日本婦人の会大分県本部提出（討論の内容は本文に）

2020年第3回

日本共産党 大分県議団・県政報告

大分市大手町3-1-1 県庁舎新館 3F

日本共産党大分県議団

堤 栄三：Facebook

猿渡久子：Facebook・ブログ



Q 検索

県政に対するご意見・相談事などお気軽にお寄せ下さい。

TEL/FAX 097-537-2344

E-MAIL jcp-oita@oct-net.ne.jp

ホームページ http://www.jcp-oitakengidan.com